



さくらい へい え
櫻井 ひろ江
(日本共産党安中市議員)

新型コロナウイルス感染症対策・ 再生可能エネルギー・農業政策について

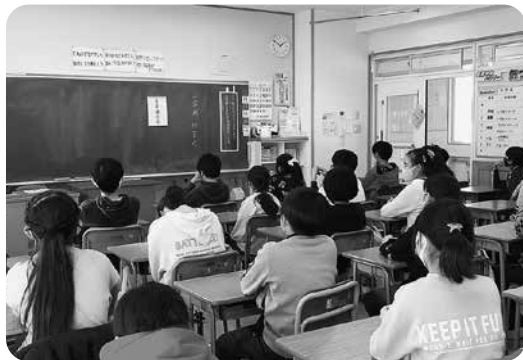
新型コロナウイルス感染症対策の少人数学級について

問 3月からの休校後、6月からクラスを半分に分散しての授業が始まった。長期休みで全国的には75%の子どもたちにストレス症状があったと言われていたが、少人数での授業ではどうであったか。

答 6月の分散登校時において、教職員が児童生徒の健康状態の把握や家庭との連絡を密に行う等、きめ細かい指導を実施し、子ども自身も学習課題にしっかりと取り組めていたという報告を受けています。

問 コロナ禍を通して、各教育関係団体や関係者から、少人数学級の学級編制を望む声が多く出され、文部科学省も、30人学級の検討を言い始めている。当市はどのように考えるか。

答 文部科学省が30人学級編制を目標にしていることは承知して



児童30人の学級の授業風景

3点と農業政策を質問しました。

その他、再生可能エネルギー

いますが、1学級の児童生徒数は、国や県が定める基準によるので、教育委員会としては、推移を見守りたいと考えます。

問 安中市は、30人以下のクラスが多い。市費での雇用もして、30人以下学級にしてはどうか。

答 新たに市費の教職員を雇用し30人学級編制とするには、市単独では決められず、県教育委員会との協議が必要となります。



ながしま よう こ
長嶋 陽子
(公明党)

女性のがん対策・市営住宅について

婦人科検診について

問 検診受診率は。

答 平成30年度、乳がん検診は19%、子宮頸がん検診は14・2%で、やや減少傾向です。

問 受診しやすい環境づくりの取り組みは。

答 集団検診においては、検診車内の従事者や会場内での問診者も全て女性とし、体の様子なども気兼ねなく相談できる体制を整えています。

休日検診を設ける考えは。

答 受診しやすい環境の整備、受診率向上の面からも、今後の検討課題とします。

子宮頸がんワクチン接種について

問 小学校6年生から高校1年生までの女子が対象であるが、助成期間が迫っている高校1年生への周知は。

答 正しい情報を家族で共有し、ワクチンの接種について判断していただくために、厚生労働省



子宮がん集団検診車

作成のリーフレットの郵送を予定しています。

問 今後の対象者への取り組みは。

答 本年10月9日の、定期接種の対応に関する勧告の一部改正を受け、市としても来年度小学6年生となる対象者及び保護者に対し、二種混合予診票送付時に厚生労働省が作成したワクチン接種に関するリーフレットを同封し、接種希望の対象者に対し予診票の交付を予定しています。

その他、1項目を質問しました。